

2011年度

科目名	比較文化論			
担当教員	村尾 敏彦			
配当	人社3		コード	55028
開期	後期	講時	金曜日5限	単位数 2
授業テーマ	様々な文化の比較から、自らの文化の不透明性へ			
目的と概要	空気を肺から出し入れするように、私たちは意識しないままに、文化を呼吸しています。空気が無色透明であるように、自分が生まれ育った文化圏の中身を、私たちは当然のものと思い込んでいます。ところが、異なる文化に出会うと、自分たちの生き方が唯一可能な形態とは思えなくなります。もしかしたら、人類は、人間にはどのような生き方が可能なのか、夥しい数の異なる文化を世界中に生み出すという形で、壮大な実験を行っているのかもしれませんが。身体性に注目して考えます。			
成績評価法	授業ごとにふりかえりを書いてもらい、最後の授業で自分の考えをまとめてレポートを作成します。ふりかえり(50%)とレポート(50%)で評価します。			
テキスト	授業中にプリントを配布します。			
参考書	必要に応じて紹介します。			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	舞台芸術を見る機会があると、授業の内容がわかりやすくなります。			
講義計画				
1. ヨーロッパと日本 2. 日本の身体文化 3. ダンスと舞踊①ー『ジゼル』 4. ダンスと舞踊②ー『鶯娘』 5. 現代のダンス、舞踏 6. 英国演劇と歌舞伎① 7. 英国演劇と歌舞伎② 8. 演劇とダンス 9. 英国演劇と黒澤明①（シェイクスピア『リア王』） 10. 英国演劇と黒澤明②（映画『乱』） 11. 英国演劇と黒澤明③（シェイクスピア『マクベス』と映画『蜘蛛巣城』） 12. 英国演劇と日本演劇①（シェイクスピアの『十二夜』と蜷川幸雄演出『十二夜』） 13. 英国演劇と日本演劇③（野田秀樹演出『十二夜』） 14. 英国演劇と日本演劇④（シェイクスピア『間違いの喜劇』と『間違いの狂言』） 15. まとめ				